

令和7年度

# 運営に関する計画

令和7年度 最終評価



大阪市立神路小学校

## 1 学校運営の中期目標

**現状と課題**

本校では、「強く 正しく 朗らかに」を校訓に、「豊かな心を持ち、自ら学び、考えたくましく生きる子どもを育てる」を教育目標に掲げ、日々の教育活動に取り組んでいる。

【安全・安心な教育の推進】では、児童の安心・安全の実現のため、教職員が共通理解のもとで児童の指導にあたりるとともに、家庭、関係諸機関とも連携して、子どもたちの安心・安全な教育の推進に取り組んでいる。

児童用学校アンケートにおける「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目についての肯定的な回答の割合は、学年間で多少に差異はあるものの、概ね目標値には達しているが、学習規律を含めた規範意識については、まだ向上の余地があるため、さらなる取組の推進をおこなっていく。不登校児童の在籍比率および前年度不登校児童の改善の割合については、学校全体での取組および外部機関との連携を進めており、いずれも前年度と同程度であった。また、小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合については、「思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせて、目標値に達しており、さらなる意識の向上に取り組む必要がある。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】では、本市の学力向上支援事業を活用し、教職員の授業力向上のために、研修・研究授業を活性化し、取組を進めている。

令和4年度大阪市小学校学力経年調査の結果では、全市目標における意識調査の項目においては、各学年で差異はあるものの、概ね目標に達するか、それに近い数値となっており、とくに運動やスポーツに対する意識は高い。一方、国語および算数の平均正答率の対大阪市比をいずれの学年も前年度より2ポイント向上させるには至っておらず、さらなる学力向上の取組が必要な状況となっている。ICTの活用については、積極的にその活用が進められており、学習者用端末の月間活用率は、いずれの月においても100%に達している。また、食に関する指導や健康に関する指導については、保護者用校内アンケートで肯定的な回答が高い割合を示しており、充実した取組が実施されている。

【学びを支える教育環境の充実】では、前項にあるように児童の学習用端末の積極的な活用が進められており、また、デジタル教科書の積極的に活用するとともに、学習教材の活用を進めている。また、年次有給休暇を10日以上取得する教職員の割合については目標値に達したが、教員の勤務時間に関する基準1および基準2を見満たす教職員の割合は、12月末現在において、基準1については90%、基準2については100%となっており、取組は進んでいるがまだ改善の余地がある。

## 中期目標

### 【安全・安心な教育の推進】

- 児童用校内アンケートにおける「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、肯定的な回答の割合を80%以上にする。  
(令和5年度 82.9% 令和6年度 80.7% 令和7年度 79.1%)
- 保護者用学校アンケートで「学校は、子どもの健康・安全に対する取り組みを進めている」の項目の肯定的な回答の割合を毎年向上させていく。  
(令和5年度 82% 令和6年度 77% 令和7年度 81%)

### 【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 令和7年度の小学校学力経年調査における府平均との標準化得点を、100とする。  
(令和6年度 91% 令和7年度 90%)
- 児童用校内アンケートの「授業の内容はよくわかりましたか」に対して肯定的な回答の割合を毎年向上させ、令和7年度には92%以上にする。  
(令和5年度 89% 令和6年度 89% 令和7年度 84%)
- 令和7年度の全国体力・運動能力、運動習慣調査において、体力合計点が大阪市の平均と同程度にする。  
(令和6年度 男子 48.14 下回る、女子 52.03 同程度 令和7年度 男子 49.89 下回る、女子 54.03 上回る)
- 児童用校内アンケートにおいて、「自分からすすんで運動をしていますか」に対して肯定的な回答の割合を80%以上にする。(令和5年度 79.1% 令和6年度 77.9% 令和7年度 78.8%)

### 【学びを支える教育環境の充実】

- デジタル教材を活用した学習を週3回以上実施する。  
(令和5年度 令和6年度 令和7年度とも概ね達成)
- 「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間に関する基準1(基準2)を見満たす教員の割合を100%にする。(令和6年度 基準1は90%、基準2には100% 令和7年度 基準1は90%、基準2には97%となっており、取り組みは進んでいる。

## 2 中期目標の達成に向けた年度目標

### 【安全・安心な教育の推進】

- ・小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を90%以上にする。  
(令和5年度「思う」72.1% 令和6年度70.9%)
- ・年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。  
(令和5年度4人 令和6年度4人)
- ・年度末の校内調査に1.01.01において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。  
(令和5年度4人 令和6年度2人)
- ・児童用校内アンケートにおける「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、肯定的な回答の割合を80%以上にする。(令和5年度 82.9% 令和6年度80.7%)
- ・小学校学力経年調査における「自分には、よいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を75%以上にする。(令和5年度 71.0% 令和6年度74.0%)

### 【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ・小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「あてはまる」と回答する児童の割合を35%以上にする。  
(令和5年度 38.2% 令和6年度29.5%)
- ・小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント向上させる。  
(6年国語、5年6年算数で下回った)
- ・小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を70%以上にする。  
(令和5年度 70.7% 令和6年度67.5%)
- ・食に関する指導の全体計画に基づき食育を推進し、学校アンケートの「食に関する指導の充実」に対して肯定的な回答の割合を80%以上にし、校内児童アンケート「給食をおいしく、残さず食べている」に対して肯定的な回答の割合を80%以上にする。  
(令和5年度 84.6% 令和6年度87.0%)

### 【学びを支える教育環境の充実】

- ・授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上にする。〔ただし、事務局が定める学校行事等ICT活用が適さない日数を除く〕  
(令和6年度 月平均47.8%)
- ・「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間に関する基準1(基準2)を見満たす教員の割合を100%にする。  
(基準1:90% 基準2:97%)
- ・年次有給休暇を10日以上取得する教職員の割合を90%以上にする。(R6 91%)
- ・小学校学力経年調査における「読書は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を72%以上にする。  
(R5 71.3% R6 65.0%)

### 3 本年度の自己評価結果の総括

#### 【安全・安心な教育の推進】

- ・ 小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を90%以上にする。  
(R5 72.1% R6 70.9% R7 72.8% 中期目標を下回った)  
命にかかわることから、いじめは絶対に許されないことを児童に指導してきたが、自分にも言い分があると否定的な意見を持つ児童が一定数いる。しかし、いじめ事案に対しては、校内委員会を開催して互いに納得が得られるよう解決にあたった。  
→今後も指導を継続していく
- ・ 年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。  
(R5 4人 R6 4人 R7 3人 中期目標を達成)  
不登校児童の実態は個々に異なっており、それぞれの実態に応じてSSW, CS, 家庭と連携しながら対応している→今後も指導を継続していく
- ・ 年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。  
(R5 4人 R6 2人 R7 1人 中期目標を達成)
- ・ 児童用校内アンケートにおける「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、肯定的な回答の割合を80%以上にする。生活指導部・保健委員会を中心に、強調週間を設定するなどして児童に啓発してきた。→今後も指導を継続していく  
(R5 82.9% R6 80.7% R7 79.1% 中期目標をほぼ達成)
- ・ 小学校学力経年調査における「自分には、よいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を75%以上にする。  
学級でのいいところみや全校朝会での表彰等により、徐々に改善してきている。適切  
(R5 71.0% R6 74.0% R7 76.1% 中期目標をほぼ達成)

#### 【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ・ 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「あてはまる」と回答する児童の割合を35%以上にする。  
授業中、友達と意見を交換したり相談したりする活動を意識的に取り入れることで、児童も話し合い活動に慣れ、誰とでも積極的に話し合いをできるようになりつつある。  
(R5 38.2% R6 29.5% R7 32.5% 中期目標を下回った)
- ・ 小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度を下回らないようにする。  
(6年国語、6年算数で下回った)
- ・ 小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を70%以上にする。  
(R5 70.7% R6 67.5% R7 64.4% 中期目標を下回った)  
夏の熱中症対策、冬の寒さで外に出られないことが増えている。講堂にエアコンが設置される次年度以降、運動の機会を確保したい。

・食に関する指導の全体計画に基づき食育を推進し、学校アンケートの「食に関する指導の充実」に対して肯定的な回答の割合を80%以上にし、校内児童アンケート「給食をおいしく、残さず食べている」に対して肯定的な回答の割合を80%以上にする。

(R5 84.6% R6 87.0% R7 85.8% 中期目標を達成)

#### 【学びを支える教育環境の充実】

・授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上にする。〔ただし、事務局が定める学校行事等ICT活用が適さない日数を除く〕

(R6月平均 47.8% R7月平均 51.4% 中期目標を下回った)

デジタル教科書は毎日使用し、心の天気の入力も徐々に定着してきている。低学年ではタブレットを使う時間を十分に取れていないので、デジタルドリルなどの活用を進めていく必要がある。

・「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間に関する基準1（基準2）を見満たす教員の割合を100%にする。

(基準1：90% 基準2：97% 中期目標をほぼ達成)

・年次有給休暇を10日以上取得する教職員の割合を90%以上にする。

(R6 91% R7 97.1% 中期目標を達成)

・小学校学力経年調査における「読書は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を72%以上にする。

(R5 71.3% R6 65.0% R7 63.3% 中期目標を下回った)

地域ボランティアや図書補助員、図書委員会による本の紹介や読み聞かせを引き続き行う。読書タイムで読書する時間を確保し、短い図書を読み切る体験を積ませたい。

大阪市立神路小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）（様式2）

評価基準 A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を90%以上にする。 (R5 72.1% R6 70.9% R7 72.8%)</li> <li>・年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。 (R5 4人 R6 4人 R7 3人)</li> <li>・年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。 (R5 4人 R6 2人 R7 1人)</li> <li>・児童用校内アンケートにおける「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、肯定的な回答の割合を80%以上にする。(R5 82.9% R6 80.7% R7 79.1%)</li> <li>・小学校学力経年調査における「自分には、よいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を75%以上にする。(R5 71.0% R6 74.0% R7 76.1%)</li> </ul>	<b>B</b>

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【1 安心・安全な教育環境の実現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を90%以上にする。</li> </ul> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いじめのアンケート調査を定期的（毎学期）に行う。</li> <li>・月1回生活指導部会を開くとともに、職員会議時のなどをもとに随時情報を共有する。児童の問題行動について指導の共有化を図る。</li> </ul>	<b>B</b>
<p>取組内容②【1 安心・安全な教育環境の実現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。</li> <li>・年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。</li> </ul> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スクリーニングシートを定期的に（学期に一回）作成し、不登校児童の実態を調査する。</li> <li>・区役所の子育て支援やスクールソーシャルワーカー(SSW)、スクールカウンセラー(SC)と連携しながら問題事象の解決を図る。</li> </ul>	<b>B</b>

<p>取組内容③【1 安心・安全な教育環境の実現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童用校内アンケートにおける「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、肯定的な回答の割合を80%以上にする。</li> </ul>	<b>B</b>
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「学校生活のきまり」や「学校安心ルール」をもとに全教育活動を通して、規範意識の向上を図る。</li> <li>・月目標を設定し、年間を通して継続して指導に取り組む。</li> </ul>	
<p>取組内容④【2 豊かな心の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校学力経年調査における「自分には、よいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を75%以上にする。</li> </ul>	<b>B</b>
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学級での終わりの会等で「いいところみつけ」を取り組み、自己肯定感の向上を図る。</li> </ul>	
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	
<p>① いじめアンケートを毎学期行い、月一回の部会では各学年毎に配慮を要する児童について報告し、全体で共有することができた。</p> <p style="padding-left: 40px;">(R5 72.1% R6 70.9% R7 72.8% 中期目標を下回った)</p> <p>命にかかわることから、いじめは絶対に許されないことを児童に指導してきたが自分にも言い分があると否定的な意見を持つ児童が一定数いる。しかし、いじめ事案に対しては、校内委員会を開催して互いに納得が得られるよう解決にあたった。→今後も指導を継続していく</p> <p>② 学期毎にスクリーニングシートを作成し、課題のある児童の把握に努めSSWやSCと連携しながら日々の指導に活かすことができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。(R5 4人 R6 4人 R7 3人 中期目標を達成)</li> </ul> <p>不登校児童の実態は個々に異なっており、それぞれの実態に応じてSSW,CS,家庭と連携しながら対応している→今後も指導を継続していく</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。(R5 4人 R6 2人 R7 1人 中期目標を達成)</li> </ul> <p>③ きまりやルールについては日々指導しているが、意識が継続できていない。数値的には低学年はクリアしているが学年が上がるにつれて目標数値を下回っている。</p> <p style="padding-left: 40px;">(R5 82.9% R6 80.7% R7 79.1% 中期目標をほぼ達成)</p> <p>④ 自分の頑張ったことやうれしかったことだけでなく友だちのよいところも発表して長所を素直に伝え合う集団づくりに努めた。</p> <p style="padding-left: 40px;">(R5 71.0% R6 74.0% R7 76.1% 中期目標をほぼ達成)</p>	
<p>次年度への改善点</p>	
<p>① 引き続き定期的な情報共有を行う。</p> <p>② 引き続き実態を把握して情報共有を図りながら適切な支援につなげていく。</p> <p>③ 委員会等を通して高学年から規範意識を持てるような取り組みを行う。保健委員による健康調べなど。</p> <p>④ 継続して取り組む。</p>	

## 大阪市立神路小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「あてはまる」と回答する児童の割合を35%以上にする。 (R5 38.2% R6 29.5% R7 32.5%)</li> <li>・小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度を下回らないようにする。 (6年国語、5年6年算数で下回った)</li> <li>・小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を70%以上にする。 (R5 70.7% R6 67.5% R7 64.4%)</li> <li>・食に関する指導の全体計画に基づき食育を推進し、学校アンケートの「食に関する指導の充実」に対して肯定的な回答の割合を80%以上にし、校内児童アンケート「給食をおいしく、残さず食べている」に対して肯定的な回答の割合を80%以上にする。 (R5 84.6% R6 87.0% R7 85.8%)</li> </ul>	<b>B</b>

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「あてはまる」と回答する児童の割合を35%以上にする。</li> </ul> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教員全員が公開授業を実施する。</li> <li>・児童アンケートにおいて「授業の内容はよくわかりましたか」に対して肯定的な回答の割合を85%以上にする。(R89.9% R7 83.6%) また、否定的な回答の割合を5%以下にする (R6 7.8% R7 12.7%)</li> </ul>	<b>B</b>
<p>取組内容②【4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度を下回らないようにする。</li> </ul> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学年に応じて自主学習ノートの内容を紹介するとともに、児童アンケート「内容を工夫して自主学習ノートに取り組んでいる」の肯定的な回答を80%以上にする。</li> <li>・自主学習ノートにおいて、年間を通じて、3行日記や俳句など、「書くこと」の学習に取り組む。 (R6 55.1% R7 50.7%)</li> </ul>	<b>C</b>

<p>取組内容③【5 健やかな体の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を70%以上にする。</li> </ul>	B
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体育器具・用具を整備・活用し、児童が運動に親しむ機会を増やす。</li> <li>・校内児童アンケート「自分からすすんで運動をしていますか」の項目で、肯定的な回答の割合について80%以上をめざす（R5 79.1% R6 77.9% R7 78.8%）。また、否定的な回答の割合を15%以下にする（R6 20.5% R7 17.5%）</li> </ul>	
<p>取組内容④【5 健やかな体の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食に関する指導の全体計画に基づき食育を推進し、学校アンケートの「食に関する指導の充実」に対して肯定的な回答の割合を80%以上にし、校内児童アンケート「給食をおいしく、残さず食べている」に対して肯定的な回答の割合を80%以上にする。</li> </ul>	A
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食に関する指導の全体計画に基づき食育を推進し、学校アンケートの「食に関する指導の充実」に対して肯定的な回答の割合を80%以上にし、校内児童アンケート「給食をおいしく、残さず食べている」に対して肯定的な回答の割合を80%以上にする。</li> <li>・アレルギー対応について、必要に応じて研修会の開催や日々の連絡により、安全を徹底する。</li> <li>・養護教諭・栄養教諭と連携し、健康に関する指導をすすめる。</li> </ul>	
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	
<p>① 年度初めに立てた研究授業計画に基づいて研究授業・研究討議会を行い、特に図画工作科について授業力の向上に努めた。児童アンケートにおいて「授業内容はよく分かりましたか。」に対する肯定的な回答は83%（目標値85%）で概ね達成に近い数値であるが、学年によるばらつきがある。否定的な回答は概ね目標値の5%以下であった。授業中、友達と意見を交換したり相談したりする活動を意識的に取り入れることで、児童も話し合い活動に慣れ、誰とでも積極的に話し合いをできるようになりつつある。 (R5 38.2% R6 29.5% R7 32.5% 中期目標を下回った)</p> <p>② 自主学習ノートは全学年で取り組み、多くの児童が提出をできている。ただ、毎回、内容を工夫して楽しく取り組んでいる児童もいる反面、いわゆる「やっつけ」になっている児童も多い。 (R6 55.1% R7 50.7% 中期目標を下回った)</p> <p>③ 児童アンケート「自ら進んで運動をしていますか。」の肯定的な回答は79%（目標値80%以上）。否定的な回答は17%（目標値は15%以下）でいずれも目標値に近い。体育の授業や休み時間に様々な運動や運動遊びを取り入れている。その時間は多くの児童が楽しんで取り組んでいるが、それ以外では積極的に外で体を動かす児童と教室で静かに過ごしている児童とに二分される。 (R5 79.1% R6 77.9% R7 78.8% 中期目標を下回った)</p>	

④ 学校アンケート「食に関する指導の充実」の肯定的な回答86%（目標値80%）。児童アンケート「給食をおいしく残さず食べている」の肯定的な回答86%（目標値80%）でどちらも目標を達成している。アレルギー対応研修、栄養指導、保健指導等を年間計画に従って行うことができている。（R5 84.6% R6 87.0% R7 85.8%中期目標を達成）

次年度への改善点

- ① 基礎・基本をさらに定着させるために漢字・計算などの反復練習を継続する。また、各教科の学習だけでなく、すべての教育活動において積極的に意見を交流する場面を意識して取り入れる。
- ② 自主学習ノートは、よい取り組みの児童のノートを紹介するなどしているが、さらにクラス以外の新たな取り組み（ネタ）の風を入れる必要がある時期にきているかもしれない。
- ③ 夏の熱中症対策、冬の寒さで外に出られないことが増えている。新たな対策ができないか。
- ④ このまま指導を継続する。

## 大阪市立神路小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>【最重要目標3 学びを支える教育環境の充実】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上にする。〔ただし、事務局が定める学校行事等ICT活用が適さない日数を除く〕 (R6月平均 47.8% R7月平均 51.4%)</li> <li>「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間に関する基準1(基準2)を見満たす教員の割合を100%にする。 (基準1:90% 基準2:97%)</li> <li>年次有給休暇を10日以上取得する教職員の割合を90%以上にする。 (R6 91% R7 97.1%)</li> <li>小学校学力経年調査における「読書は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を72%以上にする。 (R5 71.3% R6 65.0% R7 63.3%)</li> </ul>	<b>B</b>
<p>年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標</p>	進捗状況
<p>取組内容①【6 教育DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上にする。〔ただし、事務局が定める学校行事等ICT活用が適さない日数を除く〕</li> </ul> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>デジタル教材や学習支援ツールを活用した学習を週3回以上実施する。</li> <li>心の天気を日々入力するようにする。</li> </ul>	<b>B</b>
<p>取組内容②【7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間に関する基準1(基準2)を見満たす教員の割合を100%にする。(基準1 90% 基準2 97%)</li> <li>年次有給休暇を10日以上取得する教職員の割合を90%以上にする。</li> </ul> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ゆとりの日を週に1回は実施し、その取り組みができているかを検証する。</li> </ul>	<b>B</b>
<p>取組内容③【8 生涯学習の支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>小学校学力経年調査における「読書は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を72%以上にする。</li> </ul> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>読書に興味を持ってもらうために、読書タイムなどに本の紹介や読み聞かせなどを行う。</li> <li>図書開放を行い、本に接する機会を増やせるようにする。</li> </ul>	<b>C</b>

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
<p>① デジタル教科書は毎日使用している。心の天気は徐々に定着してきている。  (R6月平均 47.8% R7月平均 51.4% 中期目標を下回った)  低学年ではタブレットを使う時間を十分に取れていないので、デジタルドリルなどの活用を進めていく必要がある。</p> <p>② 全体的に取り組んでいる。状況などによって、仕事の持ち帰りなどはある。  (基準1・基準2)を見満たす教員の割合を100%にする。  (基準1:90% 基準2:97% 中期目標をほぼ達成)  ・年次有給休暇を10日以上取得する教職員の割合を90%以上にする。  (R6 91% R7 97.1% 中期目標を達成)</p> <p>③ 司書の先生の読み聞かせや図書開放などを楽しみにする児童が増えた。  図書委員会も活動が増えている。  現状、読書をする児童とそうでない児童の差が大きい。  (R5 71.3% R6 65.0% R7 63.3% 中期目標を下回った)  地域ボランティアや図書補助員、図書委員会による本の紹介や読み聞かせを引き続き行う。読書タイムで読書する時間を確保し、短い図書を読み切る体験を積ませたい。</p>
次年度への改善点
<p>① PCの持ち帰りが進むので、家庭で心の天気の入力や宿題をできるように工夫する。  お気に入りに登録してから心の天気を入力すると、まなびのポータルを経由せず、使用率に反映されないので必ずまなびのポータルを開くよう指導する。</p> <p>② 継続する。</p> <p>③ 本の紹介、読み聞かせを積極的に行う。  水曜日の読書タイムを確実に読書する時間を確保する。短い本でいいので、読み切る体験をたくさんさせる。</p>

1 総括についての評価

**【安全・安心な教育の推進】**

- ・小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を90%以上にする。  
(72.8%) →目標を達成できなかった。→評価は妥当である。
- ・年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。  
(R6 4人 R7 3人) →目標を達成できた。→評価は妥当である。
- ・年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。  
(R6 2人 R7 1人) →目標を達成できた。→評価は妥当である。
- ・児童用校内アンケートにおける「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、肯定的な回答の割合を80%以上にする。  
(79.1%) →目標を達成できなかった。→評価は妥当である。
- ・小学校学力経年調査における「自分には、よいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を75%以上にする。  
(76.1%) →目標を達成できた。→評価は妥当である。

**【未来を切り拓く学力・体力の向上】**

- ・小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「あてはまる」と回答する児童の割合を35%以上にする。  
(32.5%) →目標を達成できなかった。→評価は妥当である。
- ・小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度を下回らないようにする。  
(6年国語、6年算数で下回った) →目標を達成できなかった。→評価は妥当である。
- ・小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を70%以上にする。  
(64.4%) →目標を達成できなかった。→評価は妥当である。
- ・食に関する指導の全体計画に基づき食育を推進し、学校アンケートの「食に関する指導の充実」に対して肯定的な回答の割合を80%以上にし、校内児童アンケート「給食をおいしく、残さず食べている」に対して肯定的な回答の割合を80%以上にする。  
(85.8%) →目標を達成できた。→評価は妥当である。

**【学びを支える教育環境の充実】**

- ・授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上にする。〔ただし、事務局が定める学校行事等ICT活用が適さない日数を除く〕  
(月平均 51.4%) →目標を達成できなかった。→評価は妥当である。

- ・「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間に関する基準1（基準2）を見満たす教員の割合を100%にする。  
（基準1：90% 基準2：97%）→目標を達成できた。→評価は妥当である。
- ・年次有給休暇を10日以上取得する教職員の割合を90%以上にする。  
(97.1%) →目標を達成できた。→評価は妥当である。
- ・小学校学力経年調査における「読書は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を72%以上にする。（63.3%）→目標を達成できなかった。→評価は妥当である。

## 2 年度目標ごとの評価

<p>年度目標：【安全・安心な教育の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を90%以上にする。 (72.8%)</li> <li>・年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。 (R6 4人 R7 3人)</li> <li>・年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。 (R6 2人 R7 1人)</li> <li>・児童用校内アンケートにおける「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、肯定的な回答の割合を80%以上にする。（79.1%）</li> <li>・小学校学力経年調査における「自分には、よいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を75%以上にする。(76.1%)</li> </ul>
<p>① いじめアンケートを毎学期行い、月一回の部会では各学年毎に配慮を要する児童について報告し、全体で共有することができた。→評価は妥当である</p> <p>② 学期毎にスクリーニングシートを作成し、課題のある児童の把握に努めSSWやSCと連携しながら日々の指導に活かすことができた。→評価は妥当である</p> <p>③ きまりやルールについては日々指導しているが、意識が継続できていない。数値的には低学年はクリアしているが学年が上がるにつれて目標数値を下回っている。 →評価は妥当である</p> <p>④ 自分の頑張ったことやうれしかったことだけでなく友だちのよいところも発表して長所を素直に伝え合う集団づくりに努めた。→評価は妥当である</p>
<p>次年度への改善点</p>

- ① 引き続き定期的な情報共有を行う。→改善点は妥当である。
- ② 引き続き実態を把握して情報共有を図りながら適切な支援につなげていく。  
→改善点は妥当である。
- ③ 保健委員による健康調べなど、委員会等を通して高学年から規範意識を持てるような取り組みを行う。→改善点は妥当である。
- ④ 継続して取り組む。→改善点は妥当である。

年度目標：【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ・小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「あてはまる」と回答する児童の割合を35%以上にする。(32.5%)
- ・小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度を下回らないようにする。  
(6年国語、6年算数で下回った)
- ・小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を70%以上にする。(64.4%)
- ・食に関する指導の全体計画に基づき食育を推進し、学校アンケートの「食に関する指導の充実」に対して肯定的な回答の割合を80%以上にし、校内児童アンケート「給食をおいしく、残さず食べている」に対して肯定的な回答の割合を80%以上にする。(85.8%)

- ① 年度初めに立てた研究授業計画に基づいて研究授業・研究討議会を行い、特に図画工作科について授業力の向上に努めた。児童アンケートにおいて「授業内容はよく分かりましたか。」に対する肯定的な回答は83%(目標値85%)で概ね達成に近い数値であるが、学年によるばらつきがある。否定的な回答は概ね目標値の5%以下であった。→評価は妥当である  
授業中、友達と意見を交換したり相談したりする活動を意識的に取り入れることで、児童も話し合い活動に慣れ、誰とでも積極的に話し合いをできるようになってきている。→評価は妥当である
- ② 自主学习ノートは全学年で取り組み、多くの児童が提出をできている。ただ、毎回、内容を工夫して楽しく取り組んでいる児童もいる反面、提出するだけになっている児童も多い。→評価は妥当である
- ③ 児童アンケート「自ら進んで運動をしていますか。」の肯定的な回答は79%(目標値80%以上)。否定的な回答は17%(目標値は15%以下)でいずれも目標値に近い。

<p>体育の授業や休み時間に様々な運動や運動遊びを取り入れている。その時間は多くの児童が楽しんで取り組んでいるが、それ以外では積極的に外で体を動かす児童と教室で静かに過ごしている児童とに二分される。→評価は妥当である</p> <p>④ 学校アンケート「食に関する指導の充実」の肯定的な回答86%（目標値80%）。児童アンケート「給食をおいしく残さず食べている」の肯定的な回答86%（目標値80%）でどちらも目標を達成している。アレルギー対応研修、栄養指導、保健指導等を年間計画に従って行うことができている。→評価は妥当である</p>
<p>次年度への改善点</p> <p>① 基礎・基本をさらに定着させるために漢字・計算などの反復練習を継続する。また、各教科の学習だけでなく、すべての教育活動において積極的に意見を交流する場面を意識して取り入れる。→改善点は妥当である。</p> <p>② 自主学習ノートは、よい取り組みの児童のノートを紹介するなどしているが、さらにクラス以外の他校の好事例など、新たな取り組み（ネタ）の風を入れる必要がある時期にきているかもしれない。→改善点は妥当である。</p> <p>③ 夏の熱中症対策、冬の寒さで外に出られないことが増えている。講堂にエアコンが設置される次年度以降、運動の機会を増やしたい。→改善点は妥当である。</p> <p>④ このまま指導を継続する。→改善点は妥当である。</p>
<p>年度目標：【学びを支える教育環境の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上にする。〔ただし、事務局が定める学校行事等ICT活用が適さない日数を除く〕 (R7月平均 51.4%)</li> <li>・「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間に関する基準1（基準2）を見満たす教員の割合を100%にする。（基準1：90% 基準2：100%）</li> <li>・年次有給休暇を10日以上取得する教職員の割合を90%以上にする。（97.1%）</li> <li>・小学校学力経年調査における「読書は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を72%以上にする。（63.3%）</li> </ul>
<p>① デジタル教科書は毎日使用している。心の天気は徐々に定着してきている。 学年が低いとPCを使う時間をとることが難しい。→評価は妥当である</p> <p>② 全体的に取り組んでいる。状況などによって、仕事の持ち帰りなどはある。 →評価は妥当である</p> <p>③ 司書の先生の読み聞かせや図書開放などを楽しみにする児童が増えた。 図書委員会も活動が増えている。 現状、読書をする児童とそうでない児童の差が大きい。→評価は妥当である</p>
<p>次年度への改善点</p>

- ① PCの持ち帰りが進むので、家庭で心の天気の入力や宿題をできるように工夫する。  
お気に入りに登録してから心の天気を入力すると、まなびのポータルを経由せず、使用率に反映されないので必ずまなびのポータルを開くよう指導する。  
→改善点は妥当である。
- ② 継続する。→改善点は妥当である。
- ③ 本の紹介、読み聞かせを積極的に行う。  
水曜日の読書タイムを確実に読書する時間を確保する。短い本でいいので、読み切る体験をたくさんさせる。→改善点は妥当である。

### 3 今後の学校園の運営についての意見

- いじめに関する質問における「どんな理由があってもいけない」との項目について、いじめは良くないと認識しながらも、受けた側にも何らかの理由があるのではという意識が払拭しきれていない。引き続き指導が必要である。
- 不登校の原因は学校・家庭どちらにあるのかについて、個別の事情なので一人ひとり原因が異なる。
- 地域のスポーツクラブに入っている児童は男女とも全国平均を上回っている。運動時間も上回っており、更に意欲的に運動に関われるよう、取り組みを工夫したい。
- 家庭でできる運動の手引きを配信し、協力を得たい。
- 経年調査について、昨年度までの結果を踏まえた取組や成長の過程が見られるよう、資料の分析および提示をしてもらえた。
- 特に算数については課題が残っているので、引き続き子どもが理解できるよう取り組みの改善に努めていただきたい。次年度から2年間、国・算学びサポーターを募集し、2年・3年生で個別指導をすることで、基礎学力の底上げを図りたい。